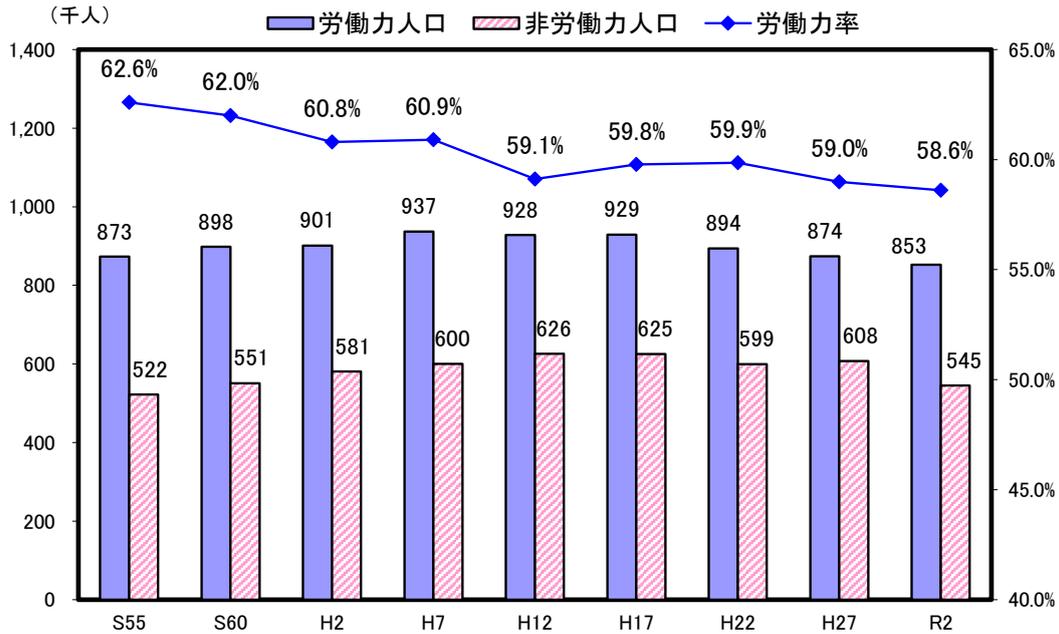


熊本県の労働力人口の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）1,398千人のうち、労働力人口は853千人で、労働力率は61%となった。男女別では、男性69.4%（全国平均71.6%）女性53.7%（全国平均53.5%）であり、全国に比べて男性は下回り、女性は上回った。

また、年次推移を見てみると、男女別では、男性の減少が大きく、昭和55年の77.6%から69.4%にまで減少しており、女性は、逆に49.6%から53.7%と増加している。

令和4年の完全失業率は2.6%で、全国平均と同率であり共に前年から0.2ポイント減少した。

○労働力人口

15歳以上の人口のうち就業者と完全失業者を合わせた数。

○就業者

調査週間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を少しでもした者。休業者も含み、家族が自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○完全失業者

調査週間中、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探していた人。

○労働力率

労働力人口÷15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）×100

○完全失業率

完全失業者数÷労働力人口×100

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局 「労働力調査<参考資料>」 総務省統計局	令和2年10月1日 令和4年	5年 毎年